

鈴川の野鳥観察会

2019. 01. 20

今年も、岡崎、豊田、金田の公民館が共同で、近くを流れる鈴川で見られる、冬の「野鳥観察会」が行われました。

指導には、大磯で活躍する「こまたん」の皆さんが、観察用の望遠鏡持参です。



東橋のたもとから見た流れです。白い鳥、「さぎ」が岸边に整列しています。
朝の9時30分ごろ、鳥たちの朝食場面に出くわしました。

<流れの中の土砂堆積、6月ごろに浚渫され、堆積土砂がはらわれたのに、一年経ずしてこの状態になりました。私たちの住む台地は、鈴川や金目川の土砂堆積でできた土地であることが、知らされます>



白い「サギ」と黒い「カワウ」が、餌を追います。



「サギ」は、すまし顔の端正な姿をしています。
餌を待つスタイルかな ？



「サギ」に混ざって「ユリカモメ」、流れの中に、波立てて「カワウ」が餌をあさっています。



鳥たちを追う、参加の人々。



「サギ」の足元に見える黒い塊。「カワウ」が水中に首を突っ込んで餌を捕ります。「ユリカモメ」の姿も見えます。



「カワラヒワ」の水浴び。



3時間足らずの間に、観察した37種もの野鳥を紹介してくれました。最後に「とりあわせ」と云い、見た野鳥の図示と観察ポイントが示されました。